

## 小兒ニ發生セル攝護腺結石ノ一例

岡山醫科大學皮膚科泌尿器科教室（主任皆見教授）

内 田 茂 雄

攝護腺結石ハ比較的稀ナルモノニシテ我國ノ文獻ヲ見ルニ僅ニ<sup>1)</sup>折茂,<sup>2)</sup>高木, 大久保,<sup>3)</sup>竹内,<sup>4)</sup>高木,<sup>5)</sup>本間諸氏ノ數例ヲ算スルノミ。而モ是等諸氏ノ例ニ於テハ50歳乃至70歳以上皆相當高年ニ達シタル者ニシテ本例ノ如キ10歳未滿ノ小兒ニシテ且比較的大ナル結石ヲ見ルハ甚ダ稀ナリト信ズ。

患者、鳥越某、8歳、男、岡山縣人。

主訴、尿失禁、下腹部竝ニ會陰部疼痛。

家族史、父方竝ニ母方祖父母共ニ老年ニ及ビテ死亡ス。父ハ尙ホ健在、既往ニ於テ著患ヲ知ラズ。唯數年來難聽アリ。母ハ數年以前妊娠中ニ死ス。兄弟ハ患者共ニ四人、他ノ三人ハ未ダ嘗テ就床セルコトナシ。家族ニ於テ結核、癩腫、結石等ノ遺傳的關係ヲ認メズ。

既往症、患者ハ四人兄弟ノ末子ニ生レ生來全ク健康ニシテ現症以外ニ藥石ニ親シミタル事ナシ。

約5年以前即チ患者3歳ノ頃偶然放尿ニ際シテ尿道ヨリ膿ヲ漏ラシ次イテ排尿ノ終リニ血液ヲ混シ疼痛著シ。當時排尿回數晝間ハ1—2時間毎ニ1回、夜間2—3回。依ツテ某醫ノ診察ヲ乞ヒ急性膀胱加答兒或ハ膀胱結石ノ診斷ノ下ニ内服ヲ持續セルモ何等效果ノ見ルベキモノナク、症状漸次増悪シ約2年以來尿失禁ヲ來シ、病床ニ臥スニ至ル。

現症、上記ノ主訴ヲ以テ本年11月5日當皮膚科外來ヲ訪フ。

體格虛弱、營養稍々不良、骨格筋肉ノ發育一般ニ不良、皮膚ハ蒼白色ヲ呈ス。體溫27.5度内外、脉搏100—110至、整調、充實、食慾可良、舌苔ヲ被ラズ。排便1日1行。心、肺ハ打診聽診共ニ變化ナシ。

局所々見、肛門内指診ニ依ルニ攝護腺ハ約胡桃大ニシテ左右兩葉共ニ硬ク結石ニ觸レルノ感アリ。壓痛烈シ。表面割合ニ滑澤、尙ホ指ヲ深く挿入スルニ膀胱頸部ト思ハルル部以上ニハ何等抵抗ナシ、「ネラトン」ハ尿道攝護腺部ヨリ深く入ラズシテ、X線寫眞ニテ著明ノ結石像ヲ認ム。

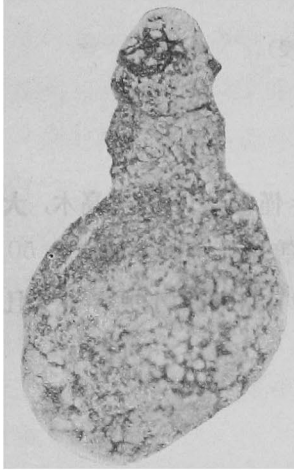
尿ハ肉眼的ニハトンプソン氏ニ杯試驗ニ徵スルニ兩杯共ニ著シク潤濁ス。蛋白多量。次ギニ鏡檢スルニ膿球、赤血球多數。上皮細胞少數アリ。尙ホ葡萄狀球菌ノ多數ヲ見ル。

診斷、高度ノ膀胱炎ヲ伴ヘル攝護腺結石。

療法及ビ經過、上記診斷ノ下ニ即日膀胱高位切開ヲ行フ。腹壁創口ヨリ指ヲ入レ取り出サントセルモ内尿道口ニ當リテ僅ニ結石ノ上端豌豆大ノ部ヲ觸レルノミニシテ大部分ノ殆ド全攝護腺ノ内部ヲ占ム。且結石ノ周緣ハ鋸齒狀トナリテ固ク攝護腺組織ト密着ス。依ツテ一方助手ヲシテ肛門ヨリ指ヲ以テ攝護腺ヲ押シ上ゲシメ餘々ニ結石ヲ組織ヨリ剝離シテ終ニ次述ノ如キ1箇ノ大ナル結石ヲ取り出ノ事ヲ得タリ。

結石別出後腹壁ヨリ「ドレーン」ヲ留置シテ創口ハ縫合シ漸次細キ「ドレーン」ニ換ヘ8日後「ネラトン」ヲ尿道内ニ留置シテ腹壁ノモノハ除去ス。其後3日ニシテ此ノ「カテーテル」ヲ除去ス。

カクテ術後 19 日ニシテ家事ノ都合ニヨリテ退院ス。當時腹壁ノ創口殆ド癒合シ上述種々ノ訴ハ全ク去リ嬉々トシテ歸途ニ就ケリ。但シ排尿回數ハ晝間約 5—6 回、夜間 2 回。



結石症狀、別出セル結石ノ圖ニ示ス如ク瓢箪形ニシテ所謂「プアイフェンスタイン」ノ形ナルモ小ナル豌豆大ノ部ハ内尿道口ヨリ膀胱内ニ突出セル部ニシテ大ナル胡桃大ノ部ハ全ク攝護腺内ニ存セルモノナリ。長徑 4.1 釐、短徑 2.6 釐、重量 12.5 瓦。表面大ナル部分、灰褐色粗糙ニシテ小突起ハ灰白色ヲ呈ス。小ナル部分モ同様ノ狀ヲ示ス。

剖面ヲ見ルニ核、灰黑色卵圓形。是レヲ中心トシテ稍々黃褐色ヲ帶ビタル白色ノ求心性紋理アリ。最外層ニ上述ノ灰褐色ノ殻ヲ被ル即チ主トシテ尿管結石ノ像ナリ。

尙ホ手術ニ際シテ結石ニ密着シ爲メニ是レト共ニ取出シタル組織片ヲ染色鏡檢セルニ結締組織纖維縱横ニ錯綜シ其間諸所ニ腺胞ヲ示ス。腺細胞ハ恐ラク壓迫ノ爲メ萎縮セルモノノ如ク、染色不良ニシテ所々細胞剝脱セルモ他ニ

ハ明ラカニ尙ホ攝護腺細胞ノ殘存セルヲ見ル。

其成因不明ナルモ茲ニハ唯珍奇ナル攝護腺結石ノ一例トシ 報告スルニ止ムルノミ。

(大正十三年十二月十六日稿)

## 文 獻

- 1) 折茂鼎三氏 攝護腺結石ト膀胱結石 皮膚科及泌尿器科雜誌 第十卷第十號
- 2) 高木繁、大久保一雄氏 巨大ナル攝護腺結石ノ一例 同誌 第十四卷第九號
- 3) 竹内讓氏 攝護腺結石手術例 同誌 第十九卷第八號(抄録)
- 4) 高木滿來氏 攝護腺膿瘍ト攝護腺結石、附 其三例 同誌 第二十卷第五號
- 5) 本間富之助氏 攝護腺結石ノ一例 同誌 第二十三卷第一號

膀胱鏡検査困難ナル場合竝ニ化學的凝固法ノ作用ヲ増進セシムル爲メニ「パラフィン」ノ膀胱充填ニ就テ。Engen Joseph, Paraffin als Füllmittel für schwierige Cystoskopische Untersuchung und zur Verstärkung der Chemokoagulation. (Zeitschrift für Urologie. Bd. 18. Heft 12. 1924)

膀胱鏡検査ノ際屢々、膿或ハ出血ノ爲メニ充填液混濁シテ、検査ノ障害サレルヲ防ガンガ爲メニ、透明ノ流動「パラフィン」ヲ燧メテ膀胱ヲ充填セリ。尙ホ三鹽化醋酸ニ於ケル化學的凝固法ヲ、膀胱内ニテ行フ際ニモ、「パラフィン」ヲ使用スレバ、ヨク所期ノ目的ヲ達シ、且膀胱他部ノ障害ヲ防ギ得。サレド熱凝固法ノ際ニハ強熱ニヨツテ燃燒シ、或ハ膀胱壁ヲ傷害スベキガ故ニ使用スルヲ得ズ。(皮、大道抄)